

合格体験記④ お茶の水女子大学 生活科学部

【大学の種類】国公立

【キャンパス】茗荷谷キャンパス（東京）



～大学 info～

【設置学部】

文教育学部、理学部、生活科学部

【学生数】2,020人

【豆知識】

日本で一番歴史のある女子大学です。総合大学の中では規模は小さい方で、アットホームな雰囲気なんだとか。キャンパス内にある表門、本館は国の重要文化財に指定されていて、本館の中で授業を受けることができるそうです。



根室高校の皆さん、こんにちは。大学の様子や一人暮らしの感想などをできるだけリアルに綴ってみましたので、これを読んで是非あなたのキャンパスライフへの夢を膨らませて下さい。

＜大学周辺の自然環境＞

私の学校の周辺は、東京都内としては静かです。それ故「都会」的な雰囲気はあまりなく、毎日通うにはいい環境だと思います。こういった環境にあてはまる学校は私の学校以外にも結構多いです。しかし買い物をしたいときにも電車で一、二駅行けば「これこそ東京だ！」というような都会に出られるので、便利でもあります。これは札幌や大阪でも同じだと思います。キャンパス内はというと、立派な講堂があり、緑が豊か、といういかにも「大学」な雰囲気が広がっています。

＜大学の授業＞

高校までと違うところ、それは「自由だ！」ということです。先生はいちいち板書してくれませんか、自分が大事だと思ったことをノートやプリントにメモし、まとめます。また、ぼーっとしていてもさぼっても、誰からも注意を受けません。講義の90分、何をして過ごすかは完全にあなたの自由です。ただし自由ゆえに、ぼーっとして大事なことを聞き逃しても、自分で何とかしなければなりません。遊ぶ時とやる時のメリハリがいっそう大事になってくるのです。学問に関しては、大学では学年を進むにつれて自分のやりたい学問をやる仕組みになっています。ですから、一年次の講義を「『広く浅く』でつまらないな」と思うかもしれません。ですがそれは、これからのための基礎をやっているのだと解釈して、ちゃんと単位を取っておくことをお勧めします。

＜一人暮らし＞

これもまた「自由」です。自分だけの空間、自分だけの時間。最初は、忙しすぎてさみしさを感じる余裕すらありません（本当に！）。それどころか新しい友達やサークル等、新しい環境に魅了されて、毎日想像以上に楽しいです。家事も、慣れないながらも何とかこなしていけるものです。

＜受験に成功した要因＞

精神面：目標を持っていたこと。「社会に貢献したい！」のような大雑把な感じで充分です。それを強く願うことによって、「今、頑張らなきゃ」と思えました。次に、適度にストレスを解消していたことです。

勉強面：高3になってから、参考書だけでなく問題集・過去問を大いに活用し、アウトプットの練習をしたことです。次に、先生方のサポートがあったことです。講習会や個人指導、進路相談まで様々な面でお世話になりました。

＜最後に一言＞

新3年生へ：自分のペースとモチベーションを大切に、頑張ってください。まだ焦らなくとも良い時期です。落ち着いて一つ一つやっていけば確実に間に合いますから、しっかりと地に足を付けて学習を進めて下さいね。焦って雑な勉強をするのは無意味です！全く自分の中に蓄積されません。

新2年生へ：主要3教科以外の科目の勉強法として、今は気楽に興味の赴くまま学習することをお勧めします。特に、映画や小説で興味を深めると後の学習が楽しくなるはずです。

最後まで諦めないで下さい。自分ならできる、と粘り強く歩んでほしいです。それと、出来れば、オープンキャンパスへ行って下さい。大学を身近に感じることでヤル気がUP！すると思います。それでは、ご健闘をお祈りしています。

